

第59期 決算のご報告

2016年4月1日から2017年3月31日まで

株主通信

CONTENTS

- ① 株主の皆様へ
- ② 連結決算ハイライト
- ③ トピックス
- ⑤ 連結財務諸表
- ⑦ セグメント別概況
- ⑨ 会社の概要



株式会社 丸順

証券コード：3422

株主の皆様へ

ご挨拶



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、このたび当社第59期決算（2016年4月1日から2017年3月31日まで）を終了いたしましたので、ご報告を申し上げます。
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2017年6月

代表取締役社長 齊藤 浩

連結業績の概況

当連結会計年度における世界経済は、米国では雇用及び所得環境の底堅さにより個人消費を中心に回復基調を維持しております。欧州では、生産及び輸出の持ち直しにより緩やかな回復を続けております。アジアでは、中国はインフラ投資の拡大による雇用環境の安定化を保った結果、消費が増加し景気の持ち直しがみられ、日本では輸出や設備投資等の民間部門の改善傾向が鮮明となり緩やかな回復基調を持続しております。

当社グループが属する自動車業界においては、米国ではガソリン価格の安定化及び低金利等の販売を後押しする環境が続いており、需要は高水準を保っております。タイでは、新興国向けの輸出の弱さが自動車輸出減少に繋がっております。中国では、政府からの優遇政策により新エネルギー車の成長が著しくなっております。日本では、車検更新車両の増加に伴う買い替え需要が一服し、内需の減速状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは厳しい収益状況からの早期脱却と、持続的な企業成長に向けた「丸順構造改革プラン」を継続して推進しており、固定費を中心とした様々な製造原価低減の取組みを実施してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は55,483百万円（前年同期比17.7%減）、営業利益は2,681百万円（前年同期比43.0%増）、経常利益は1,931百万円（前年同期比124.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,711百万円（前年同期は3,036百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

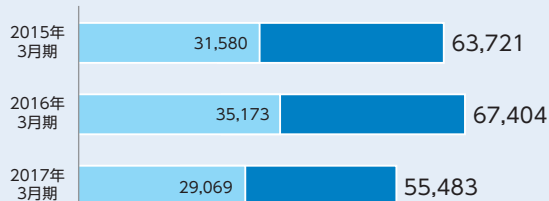
なお、早期に経営状況の健全化を目指すという観点から、誠に遺憾ながら年間配当は無配とさせていただきますので、ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

連結決算ハイライト

売上高

55,483百万円 • 前年同期比 ↓

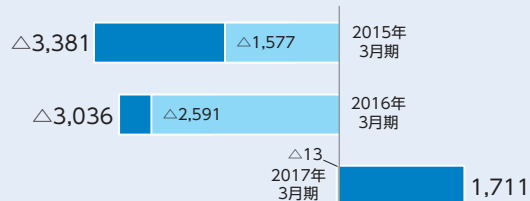
■ 第2四半期 ■ 通期 (単位: 百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

1,711百万円 • 前年同期比 ↑

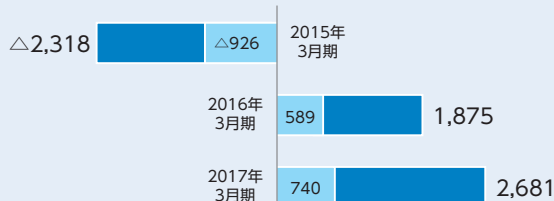
■ 第2四半期 ■ 通期 (単位: 百万円)



営業利益

2,681百万円 • 前年同期比 ↑

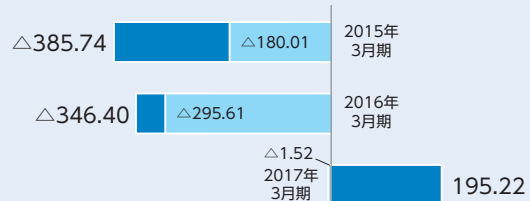
■ 第2四半期 ■ 通期 (単位: 百万円)



1株当たり親会社株主に帰属する当期純利益

195.22円 • 前年同期比 ↑

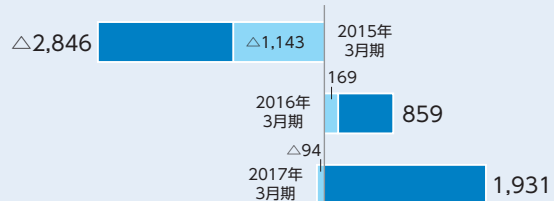
■ 第2四半期 ■ 通期 (単位: 円)



経常利益

1,931百万円 • 前年同期比 ↑

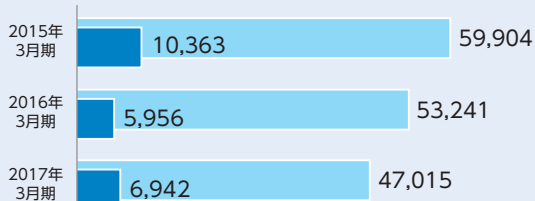
■ 第2四半期 ■ 通期 (単位: 百万円)



総資産・純資産

47,015百万円 • **6,942**百万円

■ 総資産 ■ 純資産 (単位: 百万円)



トピックス

Topics 1 東プレ株式会社との資本業務提携締結

当社は2017年5月11日付で東プレ株式会社と資本業務提携を締結しました。これにより、東プレが当社株式207万700株（議決権比率19.99%）を取得し、当社は東プレの持分法適用会社となりました。

今後、両社は国内外の生産・金型調達の補完、幹部の派遣による人材交流、共同購買の推進等の具体的な業務提携を進めてまいります。当社といたしましても、自己資本増強による財務基盤の強化のほか、提携のシナジー効果を通じて、中長期の競争力の向上を図ってまいります。



【当社】齊藤社長（左） 【東プレ株式会社】内ヶ崎社長（右）

Topics 2 広州丸順社 サンルーフ部品の受注拡大

広州丸順汽车配件有限公司は、Webasto社からFCA（フィアット・クライスラー・オートモーティブ）社向けサンルーフ部品（2機種）を受注し、量産を開始いたしました。

Webasto社はドイツに本拠地を置く世界的なサンルーフメーカーで、営業拠点46カ国、製造拠点15カ国を有しております。

受注した部品は、中国で人気の高いクライスラーJEEP RENEGADE（4月量産開始）及びクライスラーJEEP COMPASS（11月量産開始）用のサンルーフ部品です。サンルーフ部品は、HONDA（VEZEL）、日産（中国専用車）に引き続いての受注となります。

これら部品は、当社でのプレス、溶接及び塗装までを社内一貫生産で対応し、お客様からの高い品質要求項目をクリアし量産を行っております。

今後も丸順グループの戦略拠点として技術力を最大限に生かし、積極的な受注拡大を図ってまいります。

受注車種


社長交代について

当社は、2017年3月21日に開示したとおり、2017年4月1日より齊藤浩が代表取締役社長に就任いたしました。モノづくり会社の原点に戻り、技術を磨き、お客様に満足いただける部品を生産・供給することが最重要課題だと考えております。まずは「丸順構造改革プラン」総仕上げの年として改善・改革に取り組んでまいります。

丸順構造改革プランの進捗状況

第58期より推進中の「丸順構造改革プラン」の進捗状況は以下のとおりです。

(1) 経営資源の集中による事業ポートフォリオ変革

① 埼玉工場及び関東客先向けプレス部品事業からの撤退

関東客先向けプレス部品事業については撤退しましたが、ハイブリッド関係部品の一部については埼玉工場にて生産継続中です。本年中を目途に埼玉工場を閉鎖し、生産ラインを上石津工場に移管する予定です。

② 北米事業の再構築

インディアナ・マルジュン社については、2016年11月に固定資産を譲渡し、2017年3月で事業停止いたしました。

③ 四輪販売事業の非連結化の検討

関係先等との交渉の結果、引き続き当社の連結対象事業として継続しております。

(2) 資産売却、要員削減及び工場集約によるボトム経営体質の構築

① 本社ビル及び関連する不動産の売却

本社機能については2015年7月に上石津工場に移転しております。また、不動産売却については、ユークック工場、栃木開発センター、浅西ロール・東・南工場及び本社ビルの売却は完了しておりますが、浅西北工場は当初の計画どおり一部プレス部品及びサービスパーツ生産工場として活用いたします。

② 国内に分散する生産拠点の再編実施

上石津工場に生産設備の拡張及び出荷場等を建設し、浅西地区からの移管・集約が完了いたしました。

③ 役員報酬・管理職給与の削減及び賞与の削減、要員の適正化

役員報酬は、2015年度より削減を継続しております。希望退職も予定どおり実施し、総労務費の削減目標額は達成しております。また、タイ及び中国においても組織のスリム化と生産ラインの効率化等で正規従業員の削減を実施しております。

武漢丸順汽车配件有限公司は、東風本田汽車有限公司（以下「東風本田」、敬省略）から2017年3月に販売開始されました、UR-Vのステアリングハンガー・ビームコンブを含む、5部品を受注しました。UR-Vは、販売開始後に生産計画の1.5倍強の増産状況となっており、高い評価を得ています。また、UR-Vは2016年10月に販売開始された、广汽本田汽車有限公司のAVANCIER（中国名：冠道）と多数の部品を共有する兄弟車であります。今後も広州丸順汽车配件有限公司とともに積極的な受注拡大に努めてまいります。



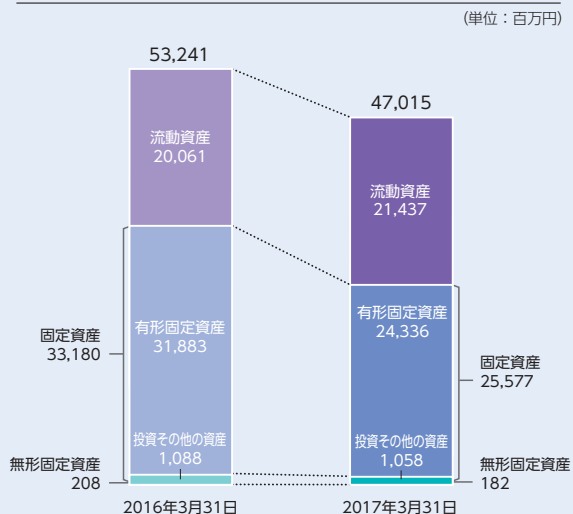
東風本田汽車有限公司「UR-V」

連結財務諸表

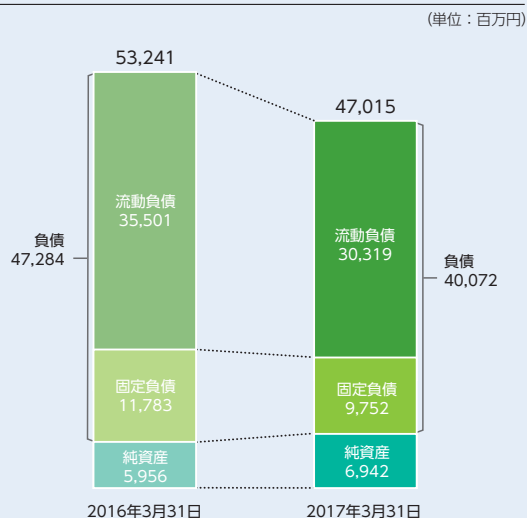
(単位：百万円)

連結貸借対照表(要旨)

資産の部



負債・純資産の部



《資産の部》内訳		2017年3月31日	2016年3月31日
流動資産	現金及び預金	7,573	5,922
	受取手形及び売掛金	10,025	8,510
	商品及び製品	474	622
	仕掛品	1,402	1,961
	原材料及び貯蔵品	742	1,065
	繰延税金資産	301	90
	その他	1,008	1,979
	貸倒引当金	△91	△91
有形固定資産	建物及び構築物	6,215	7,852
	機械装置及び運搬具	5,575	8,014
	工具、器具及び備品	5,961	7,634
	土地	754	1,637
	リース資産	1,697	2,446
	建設仮勘定	4,132	4,297
無形固定資産	182	208	
その他の資産	投資有価証券	331	279
	繰延税金資産	202	277
	その他	541	548
	貸倒引当金	△17	△17

(単位：百万円)

《負債・純資産の部》内訳		2017年3月31日	2016年3月31日	
負債の部	流動負債	支払手形及び買掛金	5,508	7,133
		短期借入金	20,370	21,888
		リース債務	572	984
		未払法人税等	120	131
		賞与引当金	119	52
		その他	3,628	5,310
	固定負債	長期借入金	7,076	8,244
		リース債務	778	1,365
		繰延税金負債	161	130
		退職給付に係る負債	938	914
純資産の部	株主資本	資産除去債務	138	89
		その他	659	1,037
		資本金	1,037	1,037
		資本剰余金	935	935
		利益剰余金	351	△1,359
	その他の包括利益	自己株式	△626	△626
		その他有価証券評価差額金	83	54
		為替換算調整勘定	1,721	2,408
		退職給付に係る調整累計額	△131	△197
	非支配株主持分	3,569	3,703	

連結貸借対照表について

資産総額の減少要因は、機械装置及び運搬具2,438百万円の減少、工具、器具及び備品1,673百万円の減少、建物及び構築物1,636百万円の減少等であります。負債総額の減少要因は、支払手形及び買掛金1,625百万円の減少、短期借入金1,518百万円の減少、長期借入金1,167百万円の減少、リース債務999百万円の減少等であります。純資産の増加要因は、利益剰余金1,711百万円の増加、為替換算調整勘定686百万円の減少等であります。

連結損益計算書について

売上高はインディアナ・マルジュン社の減収及び為替影響等により前年同期比減収となりました。しかし、営業利益及び経常利益では、生産性効率向上、要員適正化及びコストダウン等製造原価低減のための様々な取組みを実施し、前年同期比増益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益では、構造改革プランの一環である北米事業撤退及び国内固定資産売却として特別損益を計上いたしました。これらの結果、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の全てにおいて過去最高益となりました。

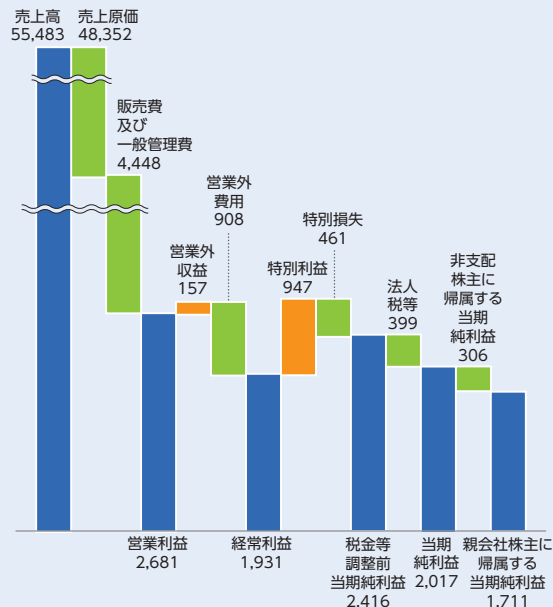
連結キャッシュ・フロー計算書について

現金及び現金同等物の期末残高は前連結会計年度末に比べ1,651百万円増加いたしました。営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益2,416百万円、減価償却費6,607百万円、売上債権の増加額2,575百万円等によるものです。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出4,333百万円、有形固定資産の売却による収入3,832百万円等によるものです。財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金413百万円の増加、長期借入金2,257百万円の減少等によるものです。

連結損益計算書(要旨)

2016年4月1日～2017年3月31日

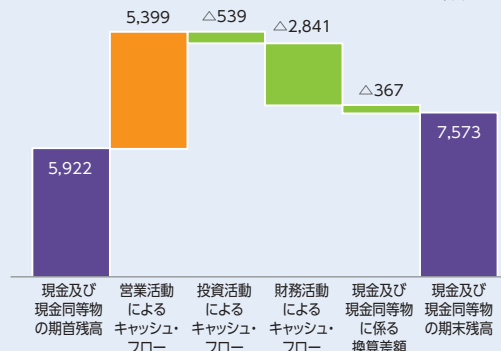
(単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

2016年4月1日～2017年3月31日

(単位: 百万円)



セグメント別業績

丸順

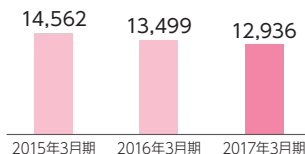
【株式会社丸順】

減収増益

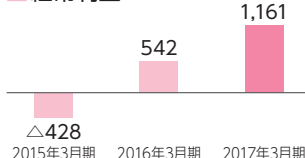
丸順においては、主要客先向け車体プレス部品の生産量減少等により、売上高は減少いたしました。[丸順構造改革プラン]の着実な推進により、特に車体プレス部品事業の収益体質が大幅に改善されたこと及び為替差益等の営業外収益の増加により、利益は増加いたしました。

以上の結果、売上高は12,936百万円（前年同期比4.2%減）、経常利益は1,161百万円（前年同期比114.0%増）となりました。

売上高 (百万円)



経常利益 (百万円)

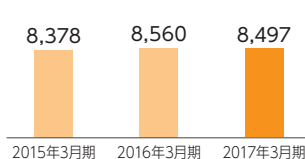


減収増益

タイにおいては、エンジニアリング事業における専用設備の販売拡大等があり、現地通貨ベースでは売上高が増加したものの、円高による為替影響により邦貨ベースでは微減となりました。なお、購入費及び経費を中心としたコストダウンの取組みや要員適正化の取組み等により製造原価が低減し、利益は増加いたしました。

以上の結果、売上高は8,497百万円（前年同期比0.7%減）、経常利益は43百万円（前年同期は898百万円の経常損失）となりました。

売上高 (百万円)



経常利益 (百万円)

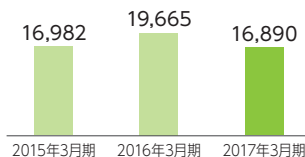


減収増益

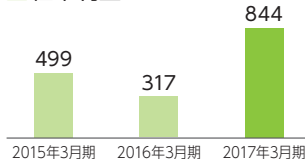
広州においては、主要客先の増産等の影響はあったものの、エンジニアリング事業における専用設備の売上減少により現地通貨ベースでは前年同期とほぼ同水準の売上高となりましたが、円高による為替影響により邦貨ベースでは減収となりました。なお、プレス及び溶接加工の生産効率向上や要員適正化による固定費削減等の取組みにより利益は増加いたしました。

以上の結果、売上高は16,890百万円（前年同期比14.1%減）、経常利益は844百万円（前年同期比166.4%増）となりました。

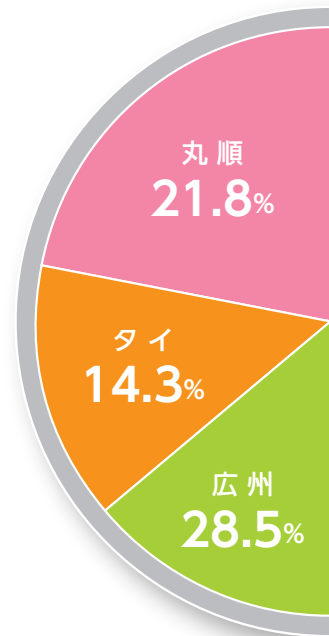
売上高 (百万円)



経常利益 (百万円)



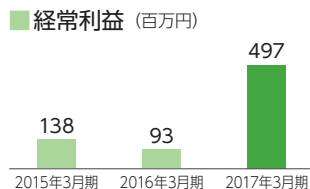
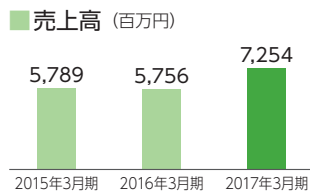
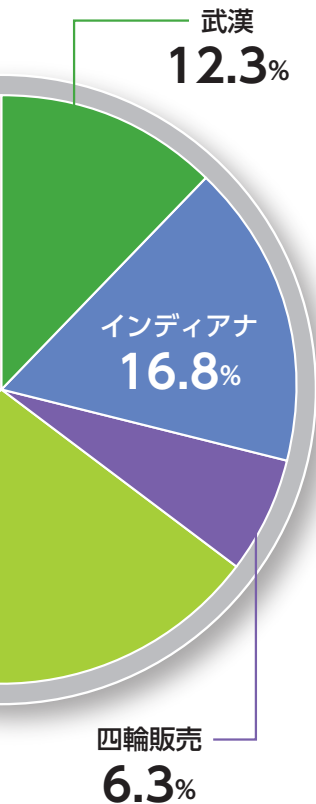
セグメント別



広州

【広州丸順汽车配件有限公司】

売上高構成比率

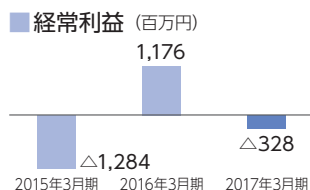
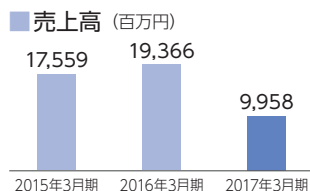


増収増益

武漢においては、主要客先で大幅に増産となったことや購入費を中心としたコストダウンの取組み及び要員適正化により増産に伴う労務費アップを抑制し、売上高、利益ともに増加いたしました。

以上の結果、売上高は7,254百万円（前年同期比26.0%増）、経常利益は497百万円（前年同期比431.0%増）となりました。

【武漢丸順汽車配件有限公司】
武漢

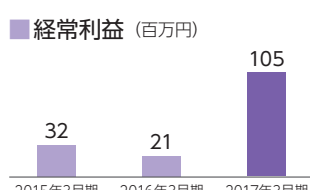
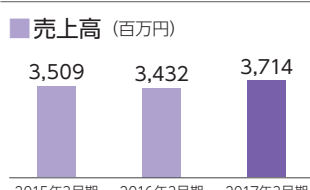


減収減益

インディアナにおいては、事業撤退に伴う事業活動の縮小の影響により売上高、利益ともに減少いたしました。遊休資産の売却や経費削減の取組みにより損失は最小限に収めることができました。

以上の結果、売上高は9,958百万円（前年同期比48.6%減）、経常損失は328百万円（前年同期比1,176百万円の経常利益）となりました。

【インディアナ・マルジュン社】
インディアナ



増収増益

四輪販売においては、新車を中心とした積極的な販売促進活動及びサービス提案等の取組みにより売上高、利益ともに増加いたしました。

以上の結果、売上高は3,714百万円（前年同期比8.2%増）、経常利益は105百万円（前年同期比390.3%増）となりました。

【株式会社ホンダ四輪販売丸順】
四輪販売

会社の概要

会社概況

(2017年3月31日現在)

商号

株式会社 丸順 (英文社名: MARUJUN CO., LTD.)

創業

昭和27年7月

(創業者: 今川 順夫)

設立

昭和35年1月

資本金

1,037百万円

事業内容

自動車用車体プレス部品の製造

自動車用精密プレス部品の製造

各種金型の設計・製作

治具・検査具の設計・製作

自動車の販売・サービス

従業員数

316名 (連結2,436名)

役員

(2017年6月23日現在)

代表取締役社長	齊 藤	浩
常務取締役	青 山	秀 美
取締役	猪 熊	篤 俊
取締役	松 井	恒 夫
取締役	棚 橋	哲 郎
取締役	湯 川	好 春
取締役	上 田	勝 弘
常勤監査役	馬 淵	仁
監査役	水 谷	博 之
監査役	堀 田	政 道
執行役員	山 本	哲 也
執行役員	林	和 英
執行役員	山 崎	英 次
執行役員	森	和 行

(注) 1. 取締役 上田勝弘氏は、社外取締役であります。

2. 常勤監査役 馬淵仁氏、監査役 水谷博之氏は、社外監査役であります。

事業拠点

(2017年6月23日現在)

本社・上石津工場

岐阜県大垣市上石津町乙坂130-1

浅西工場

岐阜県大垣市浅西3-22-22

養老工場

岐阜県大垣市上石津町牧田2947-1

埼玉工場

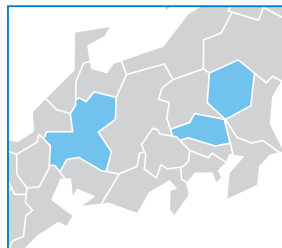
埼玉県鶴ヶ島市三ツ木新町2-5-23

栃木開発センター

栃木県宇都宮市ゆいの社1-5-40
とちぎ産業交流センタービル202号室

株式会社ホンダ四輪販売丸順 (子会社)

岐阜県大垣市新田町2-1234



広州丸順汽車配件有限公司(子会社)

中華人民共和国広東省広州市
広州経済技術開発区永和経済区
永盛路8号



武漢丸順汽車配件有限公司(子会社)

中華人民共和国湖北省武漢市
東湖新技術開発区光谷一路223号

タイ・マルジュン社(子会社)

NONG KHAE INDUSTRY ESTATE BAN
NONGSAMAK 62 MOO-6, KOKYAE, NONG
KHAE, SARABURI 18230, THAILAND

ベストテックス・MM・インディア社(出資会社)

SPL-2B, TAPUKARA INDUSTRIAL AREA, KHUSHKHERA,
DISTT. ALWAR, RAJASTHAN-301707, INDIA

株式の状況

(2017年3月31日現在)

株式数及び株主数

発行可能株式総数	39,000,000株
発行済株式の総数 (自己株式1,004,992株含む)	9,771,000株
株主数	899名

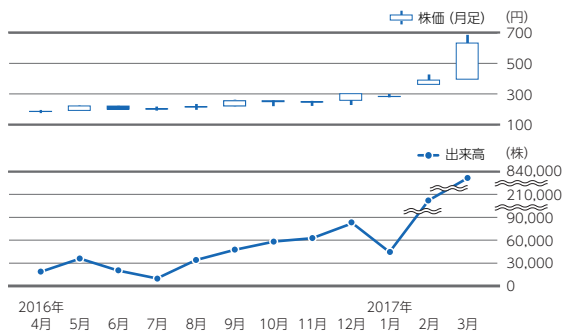
大株主の状況

(2017年3月31日現在)

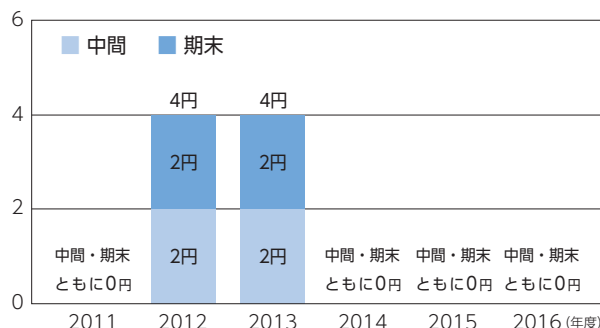
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
今川喜章	1,026,670	11.7
本田技研工業株式会社	988,950	11.3
今川順夫	959,170	10.9
太平洋工業株式会社	463,950	5.3
名古屋中小企業投資育成株式会社	371,000	4.2
丸順取引先持株会	331,000	3.8
今村金属株式会社	330,000	3.8
株式会社三菱東京UFJ銀行	325,000	3.7
株式会社大垣共立銀行	300,000	3.4
有限会社イマガワ	300,000	3.4

(注) 当社は、自己株式1,004,992株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株価チャート



配当金の推移

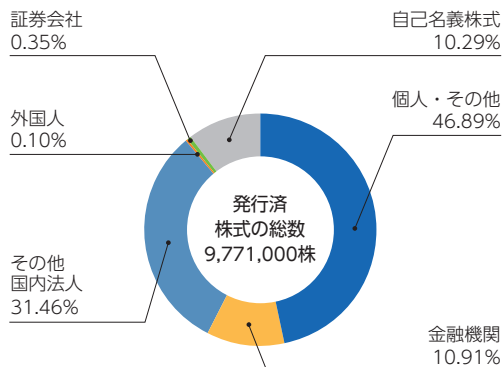


当社グループの利益配分につきましては、株主の皆様に対する利益還元が経営の重要政策の一つと考えており、配当性向、株主資本配当率、内部留保及び今後の業績動向等を総合的に勘案し、長期的視点に立った成果配分を行うことを基本方針としております。

しかしながら当期におきましては、前期に引き続き「丸順構造改革プラン」を推進しており、早期に経営状況の健全化を目指すという観点から、誠に遺憾ながら、当期における年間配当は無配とさせていただきます。

株式数構成比

(2017年3月31日現在)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日 期末配当	毎年3月31日
中間配当	毎年9月30日
定時株主総会基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の 本店及び全国各支店で行っております。

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



ホームページ

株主・投資家情報をはじめとするIR情報から技術の紹介等様々な会社情報を随時掲載しております。ぜひ、当社ホームページをご覧ください。

<http://www.marujun.co.jp/>

丸 順

検索

PICK UP !

当社は、社会貢献活動として各事業拠点ごとに除草やごみ収集等を定期的を実施しております。今後も積極的な活動を継続してまいります。



名証IRエキスポ2017に出展

開催日 2017年7月21日(金)・22日(土)
10:00~17:00

場 所 名古屋市中小企業振興会館
(吹上ホール)

参加費 無料

当社は、7月21日(金)・22日(土)に名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)にて開催される「名証IRエキスポ2017」へ出展いたします。

当日は、投資家の皆様向けのブースツアー及び証券アナリスト向けの個別面談等を実施予定です。また、特設ステージでは、人気講師による講演会(無料)が開催されます。

皆様のご来場をお待ちしております。



株式会社 丸順



本株主通信は、環境保全のため「植物油インキ」で印刷しています。